

かがやき

発行／久美の浜福祉会 かがやきの杜
あおぞら(生活介護・相談支援・短期入所)
つばさ(就労継続支援B)
佐濃ホーム(グループホーム)
丸山ホーム(グループホーム)
〒629-3557 久美浜町竹藤22-1
TEL 84-0759 FAX 84-0858

平成30年度のスタートにあたり ～挨拶～

社会福祉法人久美の浜福祉会「かがやきの杜」古橋伸一前施設長の後任としてお世話になります岸本繁之と申します。

古橋前施設長には、5年間の長きにわたり、人権尊重の理念のもと利用者に寄り添った運営を第一として、「かがやきの杜」の経営の安定化を図りながら施設の発展・地域福祉の発展に大変ご尽力いただきました。優れた前任者の後を引き継ぐには不安を感じていましたが、ご無理を言い、引き続き、業務執行理事として業務にあたっていただけることができ、安心しているところです。

私の力は微力ですが全職員の力を結集し、古橋前施設長が築いてこられたものを継承し発展させるよう施

陽春の好季節となりました。

社会福祉法人久美の浜福祉会「かがやきの杜」 施設長 岸本 繁之

設運営を行っていきたいと考えています。

さて、久美の浜福祉会は、平成15年8月に京都府から社会福祉法人として認可を受けましたが、今年でちょうど15年目を迎えることになります。また、その前身である久美浜共同作業所が平成2年6月に設立されていますので、その時から数えてみます。28年が経過することになります。

この間、地元竹藤区はもとより、都府の格別のご理解・ご支援をいただき、当事者や家族会、久美浜町手をつなぐ親の会、そして法人役員、評議員、職員スタッフの努力によつて、今日の「かがやきの杜」に発展することができました。

施設の運営では、困難なことや考え込むことがあると思いますが、松下幸之助氏は「困ったら、商いの原点に戻れ」と言われています。これを社会福祉法人にてはめ言いかえますと、福祉の原点に戻れということがあります。福祉の原点とは、人それぞれが心豊かに幸せな生活を送ることができます。福祉も教育も、そのほかのすべての活動は、人が幸福になるための営みだといえると思います。

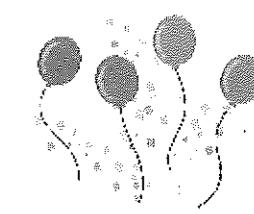
福祉の原点や法人の理念を踏まえ、私たち職員の使命は、「それぞれの思いや願いを大切にし、一人ひとりがその人らしく生きていけるよう支援とともに、地域の中に働く場をつくり、地域での生活を支える」ことだと考えていました。

「面白い、楽しい、一人ひとりが輝くかがやきの杜にしよう」を今年度の基本方針として、職員一同、全力を尽くしますので、より一層のご支援とご協力を願い申し上げます。

第14回仲間の手しごと展のお知らせ

日時： 平成30年5月27日(日) 午前10時～午後3時

場所： 久美の浜福祉会 かがやきの杜
京丹後市久美浜町竹藤22-1

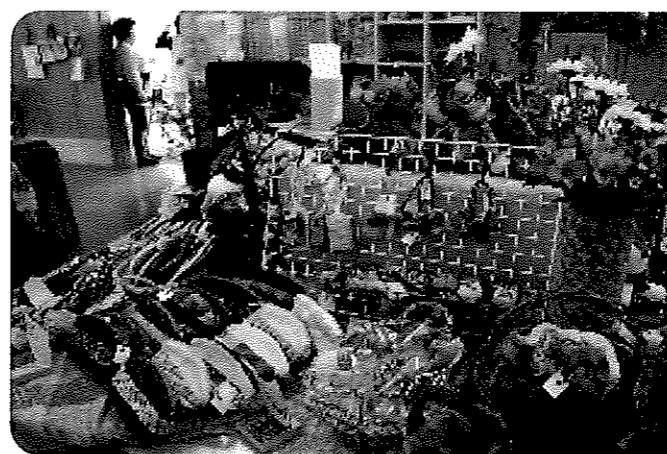


目的： 一年間の成果を地域の方々に披露する。
施設を開放し、自主製品を展示し、ワークショップ・実演を通して障害者福祉へ理解を深めてもらう。

内容： 自主製品の展示・即売、ワークショップ、実演、豆腐・加工品販売、模擬店、喫茶コーナー、絵画・書道展、スタンプラリー、風船バレー、手話劇(大きなカブ)

風船バレー参加者大募集

佐濃ディサービスセンター
「来て見て佐濃ディ」同時開催します。



昨年の仲間の手しごと展の様子です



一斉リサイクルのお礼

3月31日(土)に1・2区、海部・川上地区の一斉リサイクルを行いました。天候も良く地域の皆様のご協力をいたただき、大変多くの資源を回収する心がけが出来ました。今後とも障害者がお礼申し上げます。お社への一層のご理解と一斉リサイクル活動へのご協力をよろしくお願ひいたします。

あとがき

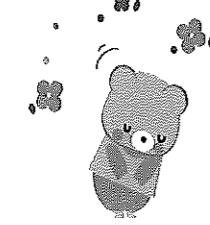
先日植えた花の種が今少しづつ芽にはるしました。雨の降らない日に楽しむ水をやり、「今日は○○個芽が出て楽しめよー」と日々の成長を職員同士で新しく観察しています。4月に迎えた新しい仲間・職員も楽しいことがはやつかればいいなと思うながら、今日も花の苗に水をあげています。

かがやきの杜ニュース
平成30年4月25日

新職員紹介
支援員 吉岡 宏美
21日からお世話になる吉岡といいます。
はやく名前と顔を覚え、少しでも早く仕事も覚え、皆さんと楽しく過ごしたいと思っています。よろしくお願ひします。

新職員紹介

支援員 吉岡 宏美



どうぞよろしくお願ひします。

書記 小谷 和徳
「毎月の自治会費のれづけを頑張ります。」

副会長 井上 勝
「副会長を頑張ります。」

会長 綱直彦
「みんなと一緒に力を合わせて頑張ります。」

今年度の自治会役員紹介をします。
(敬称略)

平成30年度の職員体制を紹介します

施設長
総務部

岸本繁之
主任：仲村恭子
事務：宮下雅和
調理：山下糸子・稻田美也子・小國裕美
運転：山口卓志・野村謹一郎・野村卓(兼)・辻正則(兼)
主任：山添礼美
生活介護サビ管：川島秀子
さをり：⑩尾畠周子・北村敏彦・吉岡宏美・高谷美野子・栗野永子
紙すき：⑩川島秀子(兼)・田中晴美
みらい：⑩吉岡哲也・吉岡由美子・山本雅教

就労継続サビ管：藤原京子
エコロ：⑩河合麻由美・北野冴佳・野村卓
食品班：豆腐チーム：⑩谷口靖・山口寿彦・松本哲朗
加工チーム：⑩岡段優加・中道有子
ピア：⑩藤原京子(兼)・平林正明

看護師：井通純子
主任：一ノ尾久仁子
相談支援
地域生活
主任：嶋崎孝信
佐濃ホーム：⑩荒田里江・野口政徳・辻正則・藤原比呂子・井尻守
丸山ホーム：⑩能勢加代美・岩崎佐津喜・松本清子・尾上弘子・稻田美也子(兼)
業務執行理事 古橋伸一

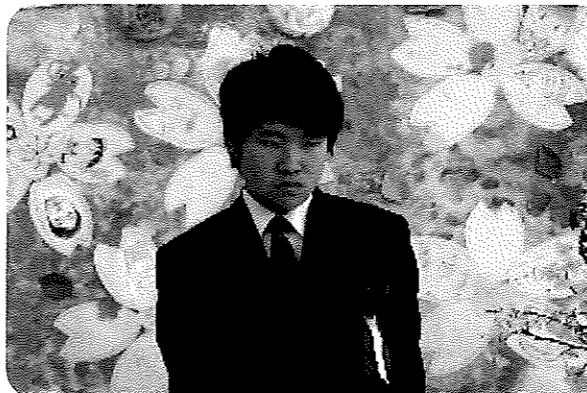
どうぞ、よろしくお願ひします。

入所式を開催しました

今年の3月に与謝の海支援学校を卒業された「吉谷(よしたに) 心(じん)」さんを迎える4月4日(水)に入所式を開催いたしました。

桜が咲き誇り、青空が広がるかがやきの杜で、京都府丹後保健所長様・京丹後市市長様・京丹後市教育長様・京丹後市久美浜市民局長様・京丹後市社会福祉協議会長様など多くのご来賓の方々をお招きし、仲間・職員一同揃って吉谷心さんを新しい仲間としてお迎えする事が出来ました。

多くの方が見守る中、堂々と胸を張り明るい笑顔で入場され、時より恥ずかしそうな表情も見られた吉谷さんですが、式典の中でも明るく「豆腐作りを頑張ります。」と、決意を述べられました。



きょうされん第41次国会請願署名
募金運動にご協力ありがとうございます！

署名 4,592筆 募金 207,339円(4月16日現在)

“障害者権利条約を批准した国にふさわしい、国の責任による障害福祉制度の充実を！”をスローガンに取り組んできました。

障害がある人もない人も分け隔てることなく学んだり、働いたり、さまざまな活動にも自由に参加でき、誰もが安心して暮らせる社会になってほしいという願いから署名活動に取り組みました。署名は国会議員の方を通じて国会へ届けていただきます。

募金につきましては、障害者福祉の充実活動に大切に活用させていただきます。